

各 位

上場会社名	株式会社 サンエー化研
代表者	代表取締役社長 角田 幸保
(コード番号)	4234)
問合せ先責任者	取締役経理部長兼経営企画部長 藤岡 貞章
(TEL)	03-3241-5702)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年11月12日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成22年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	33,000	334	380	230	20.96
今回発表予想(B)	33,167	692	760	511	46.57
増減額(B-A)	167	358	380	281	
増減率(%)	0.5	107.2	100.0	122.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	33,096	△1,700	△1,569	△1,815	△162.43

平成22年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	30,412	285	330	200	18.23
今回発表予想(B)	30,504	585	650	461	42.02
増減額(B-A)	92	300	320	261	
増減率(%)	0.3	105.3	97.0	130.5	
(ご参考)前期実績 (平成21年3月期)	30,241	△1,677	△1,545	△1,797	△160.85

修正の理由

個人消費や企業の設備投資は低迷を続けており、当社グループにおいても食品包装分野の軽包装部門及び梱包包装分野の産業資材部門の回復はやや遅れております。一方、国内ではエコポイント制度の導入による需要喚起や中国においては家電製品普及対策などの景気刺激対策が施行されております。その結果、光学フィルム分野を主体とした機能性材料部門の受注が従来予測を上回る回復傾向にあることから、全社の売上高は総じて堅調に推移する見込みにあります。

利益につきましては、第1四半期から原油・ナフサの価格動向から樹脂やフィルムなどの原材料価格が上昇する状況にありますが、上昇基調は前回予測よりは緩やかであること、一方では生産体制の見直しによる製造コストの削減などの合理化を進めるとともに販売費や一般管理費の圧縮に努めることで、通期の営業利益、経常利益は前回予想を大幅に上回る見込みにあります。

以 上